

事業者向け 児童発達支援自己評価表 公表

公表: 令和5年3月18日

事業所名 ちやいんどサポートかのかん

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	② 職員の配置数は適切であるか	4	2	場合によっては少々厳しい場面もあるが、スタッフ間で協力出来ている。	調整を図ったりしながら円滑な運営に努める。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	3	トイレに介助バー付き。肢体不自由児でも使用できる。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			全職員で意識を持って対応していきたい。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		年一回のアンケート実施。結果スタッフ間で改善に向けた話し合いが出来ている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	4	法人HPで公表・所内掲示をしている。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			事業所内や法人内での研修に参加。制度や特性の理解を深めて支援につなげたい。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	6		半年ごと定期的に見直しをし保護者と面談をしている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			領域や目標・視点の置き方をスタッフ間で共有を事前に済ませた上で活動プログラムの実行に繋がっている。振り返りを行いながらサイクルを円滑に回していきたい。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		創意工夫をしながら教材選定が出来ている。利用児も楽しみな表情を見ると嬉しい。	どういう訓練を通してお子様の力に還元できるを優先にスタッフ間で話し合い出来ている所は良い。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		社会訓練や長期時の利用での特別プログラムなどを企画して訓練している。	
	⑯ 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		一日2回のミーティングを行い、チームでの動きの確認を行なっている。	ホワイトボード等での記載も並行している。忙しさを漏れがない様にしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		基本的には行っているが全職員が取り組んでいるわけではなかった。	メモを残すことや、スタッフ間で伝言を共有するなど漏れがない様に改善をしていきたい。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			簡潔に誰が見ても分かる情報を記入することを心掛けている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		半年ごと定期的に見直しをし会議で検討している。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		6		現在受け入れなし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	5	1		現在受け入れる予定もなし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6				
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6				
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6			毎年実施している。職員または保護者の参加が継続している。	ペアレントプログラムへの積極的な参加を今後も促したい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6				
		㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			苦情についてはしかと受け止め、全職員で改善に向けて対応していく。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3	社会訓練などの様子や実際の支援の様子を写真等で見てもらう機会を設けている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			スタッフ間でもう一度振り返り、身に付けられるようにマニュアルの読み合わせなど行っていく。
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要訓練を行っているか	6		年に数回訓練を実施。利用児と一緒にやっている。	訓練の実施有無を保護者に分かるように周知していきたい。
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6			
非常時等の対応	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットを防ぐための潜在意識については共有している。
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		研修会や定例会議に参加している。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			身体拘束禁止についてのマニュアルや規約の読み合わせを実施して理解を深める。